

使用ツール

カメラ（動画）、Teams

活用シーン

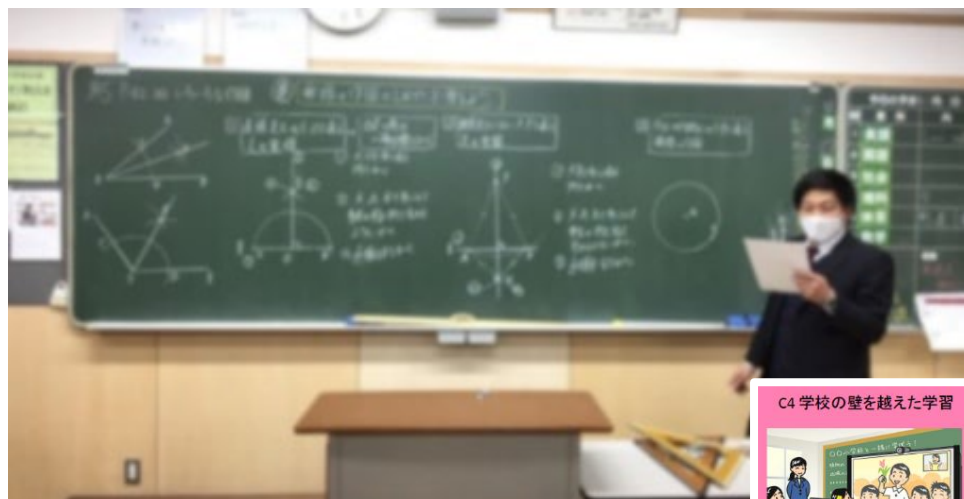
○事前に授業動画を撮影し、
教室内でその動画を視聴し
ながら学習を進める。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○【生徒の感想】

自分で動画を止めながら、自分
のペースで学習を進めることが
できてよかった。

考える時間もじっくり位置付い
ていてよかった。これがあれば、
緊急時も学びが止まらない



C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

使用ツール

カメラ（動画）、Teams

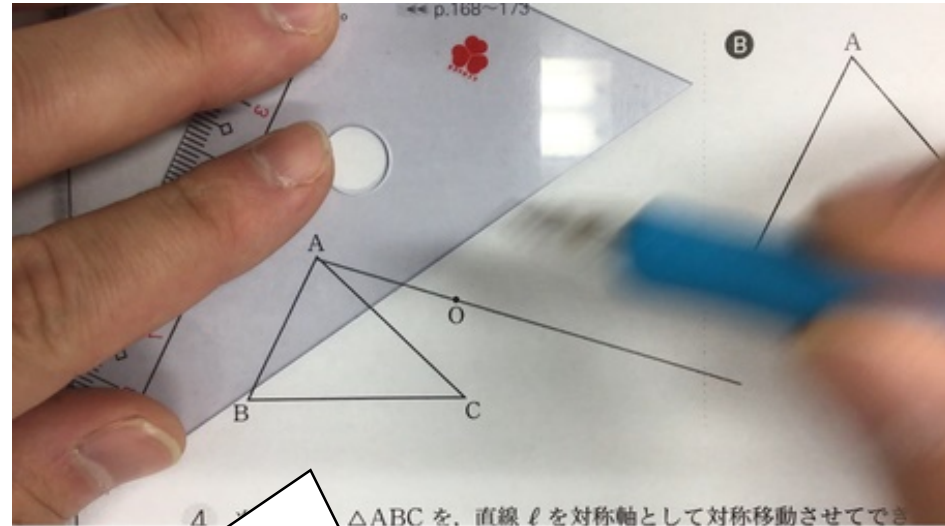
活用シーン

○図形領域の作図の仕方や、解説を動画で事前に撮影し、Teamsで生徒に配信する。生徒は、授業中や家庭で活用し、定着を図る。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○【生徒の感想】

ワークなどの解説は、文章で解説は書いてあるが、イメージをつかむのが難しい。動画があると、一緒に作図方法を確認しながら進められてとても分かりやすかった。



教科書の練習問題についての解説動画を作成。事前に、解説原稿を作成し、読みながら作図を行う。その様子を動画で撮影した。

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

使用ツール

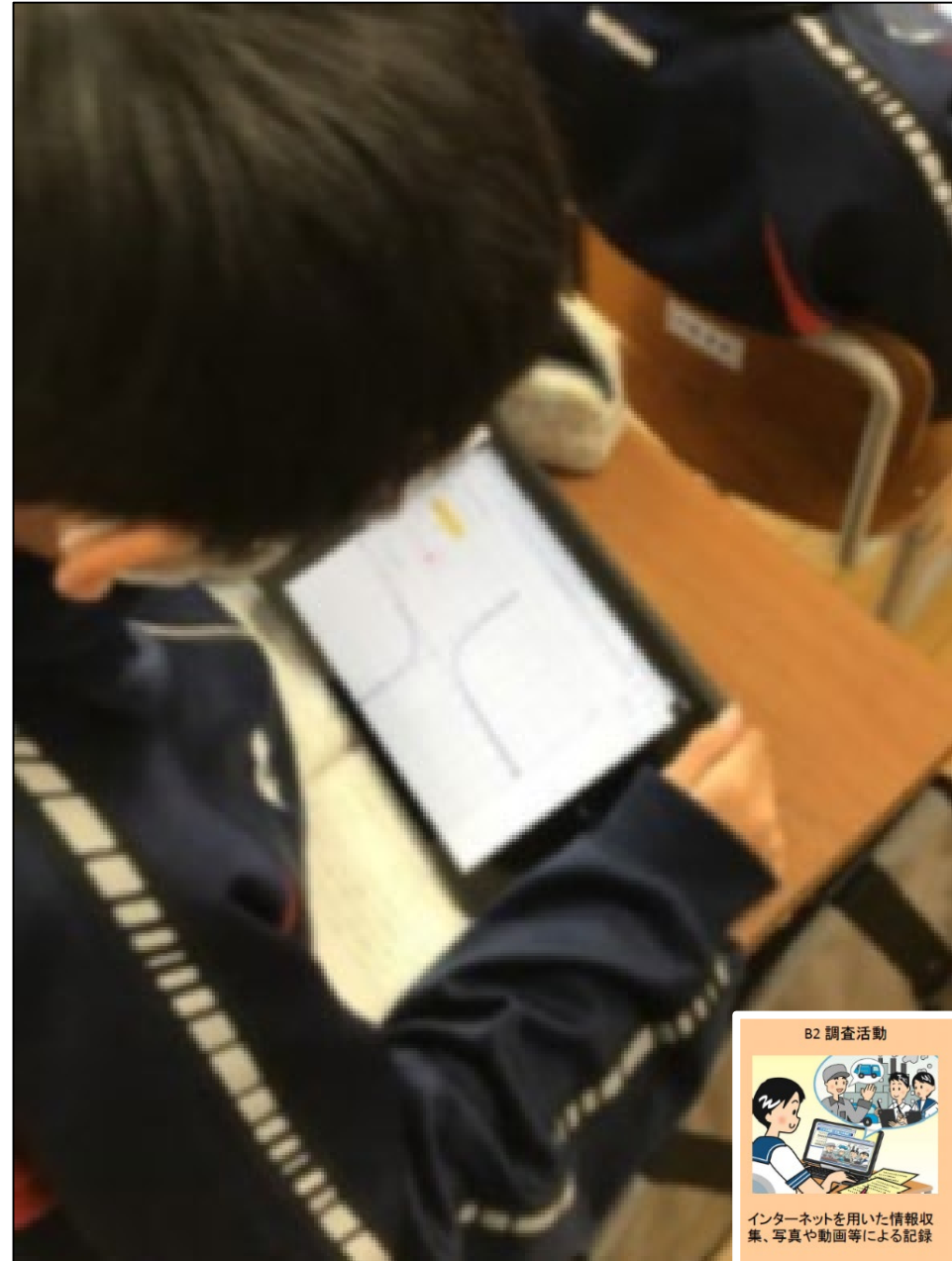
インターネット
(中数研サイトGeomathRoom)

活用シーン

○比例定数が負の数である反比例のグラフをかき、その特徴を調べ、比例定数が正の数である反比例のグラフと比較することで、「反比例のグラフの特徴」として統合し、一般化を図る。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 一つの画面上で、比例定数が正の数であっても負の数であっても、グラフが短時間で表示される本ソフトを活用することで、グラフの比較を効率よく進めることができた。
- 点と点の間は本当に曲線になるのかを、点を細かくとることで、視覚的に捉えることができた。



B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

使用ツール

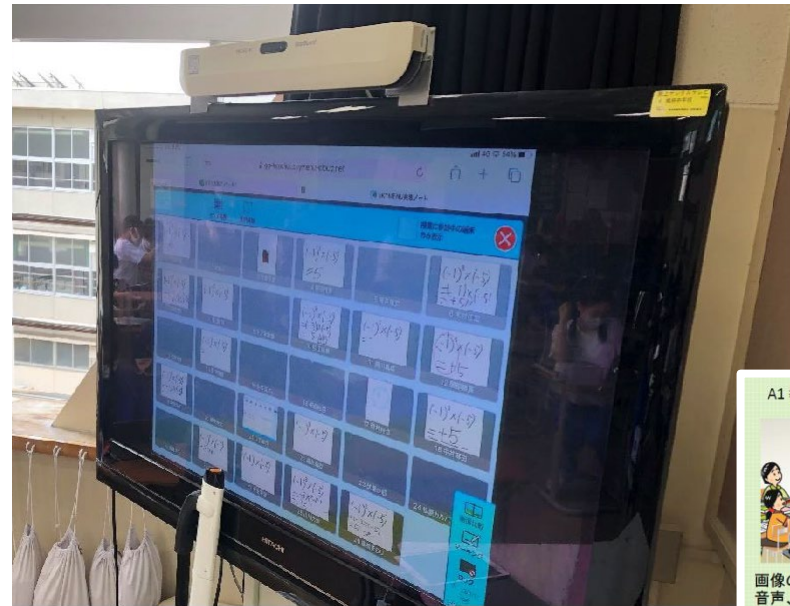
SKYMENU Cloud

活用シーン

○授業の初めに教科係が中心となり、既習事項の復習を行っている。その際、SKYMENU Cloudの発表ノートを大型TVに投影し、誰がどのように考えているのかを可視化させた。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- つまづいてしまった例を取り上げ、起こりうるミスを紹介したり、良い考えと比較させたりするなど、全員で考えを共有することができた。
- 繰り返して行う度に生徒もスムーズに行えていたので、今後生徒主体で行わせていきたい。また、既習事項の復習以外の1人1人が考えをもつ場面でも活用できた。



A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

使用ツール

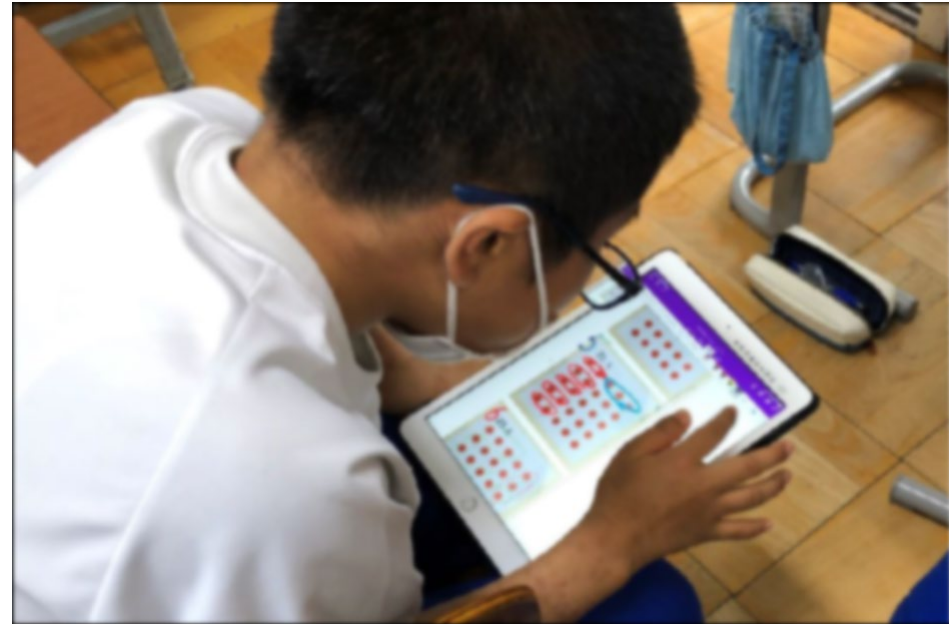
One Note

活用シーン

○ 2 元 1 次方程式の導入の 2 5 人を 3 人班と 2 人班に分ける場面で、アレイ図を OneNote に貼り付け、自分はどのようにグループ分けするのかを班で交流させた。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○ 席が離れていても、班の仲間と考えを交流できることや、仲間の書いたものに他の仲間が修正や書き足しもできるので、班としての考えをまとめることがやりやすかった。



C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い